ア　内容の〔思考力，判断力，表現力等〕の「C読むこと」の教材は，現代の社会生活に必要とされる論理的な文章及び実用的な文章とすること。

イ　内容の〔思考力，判断力，表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」，「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

ウ　教材は，次のような観点に配慮して取り上げること。

(ｱ) 言語文化に対する関心や理解を深め，国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

(ｲ) 日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち，伝え合う力を高めるのに役立つこと。

(ｳ) 思考力や想像力を伸ばし，心情を豊かにし，言語感覚を磨くのに役立つこと。

(ｴ) 情報を活用して，公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。

(ｵ) 科学的，論理的に物事を捉え考察し，視野を広げるのに役立つこと。

(ｶ) 生活や人生について考えを深め，人間性を豊かにし，たくましく生きる意志を培うのに役立つこと。

(ｷ) 人間，社会，自然などに広く目を向け，考えを深めるのに役立つこと。

(ｸ) 広い視野から国際理解を深め，日本人としての自覚をもち，国際協調の精神を高めるのに役立つこと。

第２　言語文化

１　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２　内　容

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解すること。

イ　常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使うこと。

ウ　我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。

エ　文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解すること。

オ　本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。

(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。

イ　古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。

ウ　古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。

エ　時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

オ　言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。

カ　我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力，判断力，表現力等〕

A　書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にすること。

イ　自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，